

# 2年連続での豪雨災害

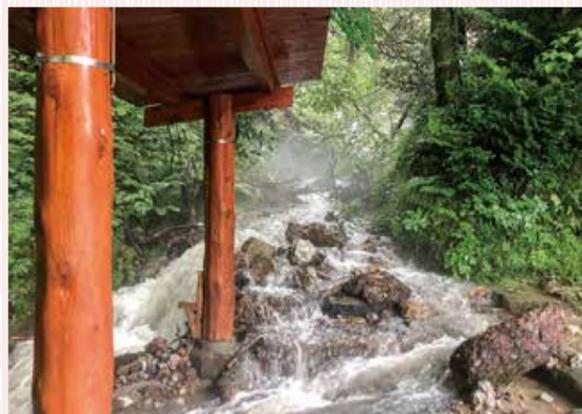


土砂崩れが発生した国道101号（大間越地区）

7月15日、東北付近に停滞する梅雨前線の影響で、秋田県を中心に朝から激しい雨が断続的に降り、長慶平地区の茶臼山観測所では、24時間降水量が7月として観測史上最大の305ミリを記録しました。

国道101号では大間越地区の秋田県境付近で土砂崩れが発生し、一時通行止めになりました。また付近の町道板貝線へも土砂が流れ込み、数世帯が一時孤立状態になりました。

今回の大雨では町内の5地区562世帯1,104名へ避難指示が発令され、一時83名の方が開設された避難所へ避難しました。人的被害や住家に関する被害の報告は確認されていません。



十二湖庵の沸壺の池の水くみ場



破損した追良瀬川の農業用施設（頭首工、水路）



災害現場を視察する宮下知事と吉田町長

## ■避難指示

- 7月15日 午前9時40分 土砂災害警戒情報発表  
大間越地区に避難指示発令
- 7月15日 午後5時09分 追良瀬地区、正久地区、岩崎上地区に避難指示発令
- 7月16日 午前5時10分 土砂災害警戒情報解除
- 7月16日 午前6時00分 避難指示解除

## ■避難所の開設

- 役場本庁舎、岩崎支所、大戸瀬支所をはじめ、全町域に合計で7か所の避難所を開設
- ・ 7月15日午後7時30分時点の避難者は、合計で83人
  - ・ 7月16日午前10時30分避難所閉鎖

大雨から2日後の17日には、宮下宗一郎知事が深浦町を訪れました。土砂崩れが発生した大間越地区の国道101号など、町内の被害状況を吉田町長と視察しました。被害現場では吉田町長や町の担当課長から被災時の状況や住民の避難の様子について説明を受けました。宮下知事の災害現場視察は知事就任初となります。



増水している追良瀬川



黄金崎川の水が流れ込む不老死温泉